

施策事業の点検・評価の方法について

・点検評価事項のフィードバックはどのように行われているか？

・進行管理方法に関する指摘事項については、主に以下のとおり対応しました。

24年度の点検評価における指摘事項	対応
事業費の使途がわかるようにすること。 自己評価結果をわかりやすく表記すること。 府として想定している課題や改善策を示す。	点検評価表の様式を改正し、各事業について記載することとした。
財政面の評価制度を一元化して内部フィードバックを図ること。人件費を含めた評価の記載。	公会計制度に基づく決算書(23年度)を参考に提示する。
成功事例や失敗事例の紹介などが望ましい。	ヒアリング等を踏まえ、一部の事業について補足資料を作成。
核となる基本的な事務事業を示すこと。	施策体系表を作成。 主な施策を点検評価の対象としている。

・各施策事業に対する指摘事項については、いずれも各所属において指摘事項を踏まえて事業を実施し、その結果を点検評価シートに記載しています。昨年度の点検・評価において示された意見のうち、主なものについて対応した結果は以下のとおりです。

24年度の点検評価における指摘事項(主なもの)	対応
<水質改善と漁業振興の関係> 大阪府環境審議会で委員から意見があった大阪湾の水質改善と豊かさ(漁獲量の確保)の関係について、引き続き、検討が必要。	大阪湾の水質改善と豊かさ(漁獲量の確保)の関係については、水質(栄養塩)と漁獲量の関係の研究成果を踏まえ、検討を行った。
<ヒートアイランド対策> ヒートアイランド対策として、都市における緑地等を増やすことに加え、ヒートアイランド現象の原因となる排熱を抑えることや有効利用することに関する対策も必要。	ヒートアイランド対策については、温暖化防止条例による大規模事業者の取組み促進や、中小事業者の省エネ支援等により、人工排熱の削減対策を推進した。

・26年度に実施する複数年サイクルの点検・評価の際にも、複数年間にわたる施策事業におけるフィードバックの状況をまとめ、その方法等について点検評価したいと考えます。

・各施策事業の外部経済効果・外部不経済効果を明記すべき。

・緑化関係施策に係る「みどりの大阪推進計画」においては、環境以外の様々な効果を見込んで、戦略及び施策事業を計画しています。

みどりそのものによる直接的な効果	スポーツ・レクリエーション、ヒートアイランド緩和、都市景観形成、水源涵養・生物多様性確保、土砂災害防止・避難地確保等防災機能向上、やすらぎ・憩い
みどりを活用することによって得られる間接的な効果	教育・文化(地域の文化や自然を活かした体験学習が子どもの環境教育に) 商業・観光(商業空間などでのみどりの活用が、集客向上や環境振興に) 交流(校庭芝生化への多様な主体の参加などの活動が、地域コミュニティを育成) 福祉(みどりの育成作業が、高齢者の健康増進や生きがいづくりに) 安心(まちかど花壇での緑化活動が、互いに声を掛け合える安全なまちづくりに)

- ・農地保全に関する施策など、豊かな「食とみどり」の創造等をめざす取組みに係る「おおさか農政アクションプラン」においては、以下のような農地の外部経済効果を見込んでいます。

農空間の有する多面的機能



【大阪府の農空間の多面的機能の貨幣価値】

(単位：億円／年)

機能	評価額
国土・環境保全	299.6
食糧生産	333.0
防災	69.3
健康・レクリエーション	223.2
リサイクル	34.6
合計	959.7

※H21年現在

- ・上記のほか、各施策事業においても、環境以外の様々な効果や影響を検討して事業を計画し実施しており、26年度の複数年サイクルの点検評価において把握を検討することとしたいと考えます。

- ・目標あるいは指標の設定が不明確な事業がある。
- ・指標の設定について、数値化が困難なものについては、事業の進捗状況を定性的な情報をもとに評価指数で表現する方法もある。

- ・各施策事業において、当該事業の効果（目的達成状況）を正確に反映し、かつ、毎年度正確に把握できる数値指標を採用するよう努めています。数値指標の設定が困難な「計画策定」「状況把握」「調査実施」などの事務を除いて、概ね数値指標を設定しています。
- ・今後も、適切な指標の設定については、ご指摘を踏まえながら施策事業ごとに検討し、改善を図ってまいります。